

令和6年度 町道民税申告書

受付印欄	令和〇年〇月〇日 芽室町長 様	個人番号	
現住所	芽室町東〇条〇丁目〇番地	業種又は職業	無職
1月1日現在の住所	河西郡芽室町 同上	電話番号	090-xxxx-xxxx
フリガナ	メムロ タロウ	生年月日	世帯主の氏名
氏名	芽室 太郎	明・大・昭 40年4月1日	芽室 太郎
			続柄 本人

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

手順1

個人番号

マイナンバーカード（通知カード）等を基に個人番号を記入してください。

現住所

申告日現在の住所を記入してください。

1月1日現在の住所

現住所と同じ場合は「同上」で省略可能です。

氏名

フリガナを必ず記入し、氏名の横に押印してください。

電話番号

ご自宅の電話番号または携帯電話番号を記入してください。

障害者控除	氏名	障害の程度	級度
⑳～㉒ 配偶者控除	配偶者の氏名	生年月日	明・大・昭・平・令
特別控除・同一生計配偶者	配偶者の合計所得金額		円
⑳	氏名	生年月日	同居・別居の区分
		明・大・昭 平・令	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居
			続柄
			控除額
			万円

手順2

所得金額

給与収入等の課税収入が無かった場合は、合計欄に「0」と記入してください。

16歳未満扶養対象者	個人番号	平・令	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居
	個人番号	平・令	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居

1 収入	事業等	ア		
	農業	イ		
	不動産	ウ		
	利子	エ		
	配当	オ		
	給与	カ		
	金額等	公的年金等	キ	
		雑務	ク	
		その他	ケ	
		総合譲渡	コ	
	2 所得	短期	サ	
長期		シ		
事業等		①		
農業		②		
不動産		③		
利子		④		
配当		⑤		
給与		⑥		
金額		公的年金等	⑦	
		雑務	⑧	
		その他	⑨	
	合計 (⑦ + ⑧ + ⑨)	⑩		
総合譲渡・一時	⑪			
合計	⑫	0		
4 社会保険料控除	社会保険料控除	⑬		
	小規模企業共済等掛金控除	⑭		

手順3は裏面をご覧ください。

6 給与収入の内訳

勤務先名	勤務先所在地	電話番号	期間	収入金額
			月～ 月	円
			月～ 月	円

7 事業・不動産所得に関する事項

所得の種類	所得の生ずる場所	収入金額	必要経費	青色申告特別控除額
		円	円	円

8 配
記
の

手順3

該当番号を○で囲み、該当欄に記入してください。

★記入内容について

1. 次の者に扶養されていた。

扶養されていた親族の住所(令和6年1月1日時点)、氏名、あなたから見た続柄を記入してください。

2. 単身赴任の配偶者に扶養されていた。

扶養されていた配偶者の赴任先の住所(令和6年1月1日時点)、氏名、会社名を記入してください。

4. 生活保護法の生活補助を受けていた。

保護受給開始年月日及び終了年月日を記入してください。(受給中の場合は、終了年月日を空欄としてください。)

6. 非課税の所得のみであった。

該当するものを○で囲み(当てはまるものが無い場合はその他欄に記入し)、昨年中の年間受給額を記入してください。

7. 令和6年1月1日に他の市区町村に居住し、その市区町村で住民税が課税されている。

課税されている市区町村名と、1月1日現在で生活されていた当該市区町村での住所を記入してください。

所得金額
金額-必要経費)

円

円

円

所得金額
金額-必要経費)

円

所得金額
金額-特別控除)

円

円

円

円

村分(特別控除対象
同募金会、日赤支部
町村分(特別控除対象
当該団体へ寄附した
い。

「条例指定分」の「都道府県」、「市区町村」の各欄には、住所地の都道府県、市区町村の条例で指定された寄附金を支出した場合にそれぞれ記入してください。

株式等譲渡所得割 除額 円

条例指定分

都道府県

市区町村

16 所得金額調整控除に関する事項

氏名	続柄	生年月日	明・大・昭 平・令	特別障害者に 該当する場合	級 度	別居の場合 の住所
個人番号						

◎ 令和5年中に収入のなかった人や非課税所得のみの人は、生活状況の該当番号を○で囲み、該当欄に記入してください。

1 次の者に扶養されていた。

住所 _____ 氏名 _____ 続柄 _____

2 単身赴任の配偶者に扶養されていた。

赴任先の住所 _____ 氏名 _____ 会社名 _____

3 学生や生徒であった。(卒業予定 令和 年 月) 学校名 _____ 学年 _____

4 生活保護法の生活扶助を受けていた。(年 月 日～ 年 月 日)

5 預貯金の蓄えにより生活していた。

6 非課税の所得のみであった。(該当するものを○で囲んでください)

・遺族年金 ・障害者年金 ・福祉年金 ・雇用保険 ・寡婦年金 ・その他() 年間受給額 96万 円

7 令和6年1月1日に他の市区町村に居住し、その市区町村で住民税が課税されている。

市区町村名 _____ 市・区・町・村 _____ その市区町村での住所 _____

8 その他(1～7に該当しない方は、下欄に令和5年中の生活状況を記入してください。)